

無石綿

プレミックスモルタル 下地調整塗材

ダイナミックス #300

タイル下地材用途 (5~15mm)
厚塗補修用

特長

- 各種仕上げ材の下地調整に薄塗りから厚塗りまで幅広い範囲の用途で使用可能。
- コテ塗り、吹き付けで優れた作業性と仕上り性を発揮し、作業効率の向上と工期の短縮が図れます。
- 施工後、気候の変化に影響されず長期安定性に優れ、十分な接着性も発揮します。

ビル用セメント系下地調整塗材

強度・機能・施工性・仕上り・色相 信頼の性能バランス

標準仕様

下地調整塗材 [CM-2] 厚塗補修用	
適用部位	外壁
適用仕上げ	セラミックタイル、仕上げ塗材
標準塗厚	5～15mm
適用下地	コンクリート、モルタル
標準施工面積	約2㎡ (10mm厚)
荷姿	25kg / 袋
標準調合	ダイナミックス#300 … 1袋 (25kg) シーラー N#45 …… 約1.5kg 上水道水 …… 約6ℓ

性能試験データ

試験項目	試験結果	JIS A6916 [CM-2] 品質規定
軟度変化(%)	5.8	-20～20
耐ひび割れ性	ひび割れの発生は認められない	ひび割れがないこと
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれは認められない	ひび割れ及びはがれのないこと
曲げ強さ(N/mm ²)	7.1	5.0以上
圧縮強さ(N/mm ²)	24.5	10.0以上
付着強さ(N/mm ²)	標準養生時	1.0以上
	低温養生時	0.7以上
吸水量(g)	0.3	2.0以下
透水量(ml/h)	0.3	0.5以下
長さ変化(%)	-0.13	0～-0.15
耐久性(N/mm ²)	仕上材が複数 仕上塗材の場合	割れ、膨れ及びはがれは認められない 2.6
	仕上材がセラミック タイルの場合	割れ・膨れ及びはがれがなく、 付着強さが1.0以上であること 付着強さが0.6以上であること

※試験結果は、JIS規格等に規定された条件下で行った試験値であり、実際の施工現場での結果を確実に保証するものではありません。

標準施工方法

① 下地処理

■清掃

モルタルの接着を強固にするため、下地コンクリート面のレタンス、脆弱層、離型剤・ジャンカ・汚れ等をワイヤブラシやサンダー掛けなどで除去した後、水洗いをするなどして、強靱な素地を出して下さい。

■吸水調整材塗布

下地の吸水調整の為、下地清掃後にシーラー N#45 の3～5倍液をスプレーあるいは刷毛などでムラなく塗布して下さい。(ドライアウトの原因にならないように)

② 練混ぜ

標準調合の割合で練混ぜし、塗りやすい硬さに調整して下さい。

※標準水量より多く入れると強度不足等の原因となります。又、シーラー N#45を混入することによりポリマーセメントモルタルとして使用いただけます。
※シーラー N#45を混入することにより強度耐候性又は接着耐久性に優れ長期に渡り安定した性能を発揮又は長期間高い接着力を保持します。

③ 塗り付け

あらかじめ下地処理した面に、必ず「しごき塗り」コテ圧をかけて下地に約1～2mm程度すり込むように塗り付けを行い、ワンプンボ間を空け、少し締めらせてから所定の厚さに塗付けて下さい。

※塗厚が薄い場合でも必ず励行して下さい。膨らみ、浮き、ダレ、付着、強度不足の原因につながります。
※標準塗厚をこえる場合には、2回以上に分けて塗り付けて下さい。但し、全面塗りの場合は、1回の塗厚を8mm以下として下さい。

④ 養生

施工後は通常1週間、冬期2週間以上の養生期間をおいて下さい。

※ドライアウト防止
乾燥が激しい場合は、施工の翌日に散水養生を行って下さい。
※白華防止
梅雨・冬期時は塗り付け後、降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるのでシート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。

※詳しくは標準施工マニュアル及びSDSをお読み下さい。 ※標準仕様以外の施工に関しましては責任を負いかねますのでご注意下さい。

取扱い時の安全対策(概要)

[1] 取扱い及び保管上の注意

- 目や皮膚などに触れないように適切な保護具(保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等)を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口などで洗浄して下さい。
- 製品は屋内の湿気の少ない場所に、床面から離れて保管して下さい。

[2] 応急処置

- 目に入った場合: 直ちに清浄な水で最低15分間洗い、速やかに専門医の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合: 速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 吸引した場合: 速やかに新鮮な空気の場所に移動し、水または温水でうがいし必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗うなどして、直ちに医師の診断を受けて下さい。
[まずは、飲み込まないように注意して下さい。]

[3] 濾出時の注意

- 飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋などに回収して下さい。

[4] 廃棄上の注意

- 廃棄する製品や練混ぜ材などは硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水などの排出は水質汚濁防止法などに注意して下さい。

[5] 輸送上の注意

- 破袋、荷崩れ、落下などの防止を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※安全についての記載は現時点で入手できた資料及び情報にもとづいて、通常取扱いを対象に作成しています。しかし、現場での結果を保証するものではありません。安全には十分にご注意の上お取扱い願います。



使用上の注意事項

- 本品は厳重な品質管理のもとに製造している既調合品です。指定材料以外の材料を練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
- 練混ぜた材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練足しや加水して練戻しをしないで下さい。
- 強風や直射日光などによる乾燥を防止するために、シート養生などの適宜な措置をして下さい。
- 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行って下さい。
- 製品の製造年月日を確認し、製造から6ヶ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



ISO 9001

本社 〒546-0003

大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部

TEL 0247-54-3232

FAX 0247-24-1004

西日本営業部

TEL 06-6708-8131

FAX 06-6708-8133